

東京都 女性活躍 推進大賞

事例集

～受賞者の取組～



令和5年度 東京都女性活躍推進大賞

目次

大賞

【事業者部門】

佐藤興業株式会社	7
株式会社サニーサイドアップグループ	8

【地域部門】

まえさわ小町商店会	9
一般社団法人ドゥーラ協会	10

優秀賞

【事業者部門】

PwCコンサルティング合同会社	11
パーソルキャリア株式会社	12

【地域部門】

特定非営利活動法人子育てママ応援塾ほっこりーの	13
-------------------------	----

特別賞

【事業者部門】

日本物産株式会社	14
----------	----

【地域部門】

特定非営利活動法人フローレンス	15
-----------------	----

大賞

令和5年度 東京都女性活躍推進大賞

[事業者部門]

佐藤興業株式会社



「性別で門戸を閉ざさない」という方針を掲げ、 塗装業界での女性活躍を実現

- 設立/大正7年5月 ●所在地/千代田区 ●代表者/代表取締役社長 佐藤 東平
- 正社員数/84人(女性24人、男性60人)
- 事業概要/建設業(塗装業)



背景・経緯

- ・現社長が入社した当時、女性は一般事務員が中心で、2015年時点では女性の職人・施工管理・役職者は0名
- ・「性別で門戸を閉ざすのではなく、個人の特性を確認し、配置・育成することにチャレンジする」という方針の下、女性が活躍できる環境を整備

取組内容

◆女性の採用人数の拡大

- ・トップの方針の下、女性職人及び施工管理希望者を積極採用
- ・インターンシップの受入等を通じて男女を問わずに塗装の魅力を伝え、採用実績を向上

◆社員の成長を促す環境づくり

- ・将来の道筋を示し、社員の「なりたい自分」を応援するため、入社年数ごとに5段階の明確なキャリアパスを策定(職人向け)
- ・「技術技能委員会」を発足し、専門技術を極める社内体制を整備
- ・職人のグループ組織や女性役職者による面談機会を設け、若手社員の孤立化を防ぎ、つながりや相談できる環境づくりを推進

◆建設業界における女性活躍のPR

- ・工業高校へ「出前授業」を実施し、ものづくりの楽しさや建設業界における女性活躍をPR

効果・実績

◆女性職人・女性従業員比率等の向上(2023年4月)

- 全社職人の女性職人比率 2015年:0%→2023年:23.6%
- 全従業員の女性比率 31.0%まで増加
- 役職者の誕生 女性課長代理1名、女性係長2名

◆女性職人の活躍

- 全国建築塗装技能競技大会東京地区大会に女性職人2名が初めて出場し、1・2位で通過

◆「出前授業」

- 2022年:計230名、2023年:計78名の学生が参加(2023年8月)



女性職人の活躍



将来の道筋を示したキャリアパス(職人向け)

受賞者コメント



代表取締役社長
佐藤 東平さん

- この度は東京都女性活躍推進大賞をいただき誠にありがとうございました。いつもお世話になっている関係者の皆様からスゴイと驚きの声をいただいています。また、小池都知事をはじめ、様々な企業の方ともお話しする機会を得て、社員一同刺激を受けています。当社の「性別で門戸を閉ざさない」という方針に共感し受け入れてくださった皆様に感謝し、更に前進するエネルギーとなっています。
- 今後は、①多様性を推進する相互理解への仕掛け②多様性を管理する土台作り③多様性を活かした事業展開に結びつけて行きたいと思っています。相互理解の具体例としては、講師を招き生理痛体験研修を開催しました。このような研修を通し、当社の社是である「愛」について考えを深め、お互いの特性に気付き尊重すること、自らの強みを最大限発揮して人の役に立つこと、互いの弱みをカバーし合うことを目指します。

大賞

令和5年度 東京都女性活躍推進大賞

[事業者部門]



株式会社サニーサイドアップグループ

ユニークな福利厚生制度や社会に向けた女性活躍推進プロジェクトにより、自分らしい働き方・生き方を発信

- 設立/昭和60年7月 ●所在地/渋谷区
- 代表者/代表取締役社長 次原 悦子
- 正社員数/338人(女性211人、男性127人)
- 事業概要/PRコミュニケーション、マーケティング



背景・経緯

・社会課題の一つである「女性活躍」と向き合い、社会全体の女性活躍を推進することをミッションに掲げ、PR会社ならではのPR手法を活用して社内外に向けた取組を展開

取組内容

◆ユニークな福利厚生制度「32の制度」

- ・一人ひとりが自分らしく充実した働き方・生き方ができるよう、「失恋休暇」「目指せA身体制度※」など、ユニークな福利厚生制度を整備
※健康診断で総合A判定者にボーナス贈呈
- ・「Dear WOMAN制度」では、日本企業で初めて「卵子凍結の費用補助」を導入し、「AMH検査・精液検査の費用補助」も実施するなど、女性のウェルネス支援を時代に合わせてアップデート

◆社会に発信する「W society」プロジェクト

- ・心身的・社会的課題の両面から女性活躍をデザインするプロジェクトとして、働く女性や企業向けに無料オンラインセミナー「W school」を開催



「32の制度」で充実した働き方・生き方をサポート

効果・実績

◆充実した福利厚生制度の導入や女性活躍推進に向けた取組を展開

社員の女性比率：60%以上
女性管理職比率：44.7% ※リーダー職を含む
(2023年6月)

◆「W school」

全7回開催(2022年6月～2023年7月)
1回あたりの平均参加者 約300名・約100社



女性活躍推進プロジェクト「W society」

受賞者コメント



執行役員
谷村 江美さん

- 当社は、代表取締役社長が女性かつメンバーの60%以上が女性という特徴もあり、卵子凍結の費用補助をはじめとした福利厚生制度の充実や、社外に向けた啓発活動などを長年継続して参りました。
- 今回の受賞は、こうした取組が女性の多様なライフスタイルをサポートし社会全体に少しばかりか影響を生み出す活動として評価いただけた証と受け止め、大変光栄に感じております。
- 今後は、PRコミュニケーション企業という事業特性を活かし、メディアやパブリックセクターとも連携した施策を強化し、日本社会全体の女性のQOL(クオリティオブライフ)向上の一助となるよう邁進して参ります。

大賞

令和5年度 東京都女性活躍推進大賞

[地域部門]

maccoma

まえさわ小町商店会

女性のアイデアが商店会のイメージを刷新！ オリジナル企画により、 商店会の魅力を広く発信

- 設立/昭和49年6月 ●所在地/東久留米市
- 代表者/代表世話人 床井 秀行
- 事業概要/女性三人組ユニット「こまちーズ」を中心とした商店街のPR事業



背景・経緯

- ・地域社会は高齢化が進み、商店会においても高齢男性中心の役員構成
- ・50周年記念事業のアイデアを出せない中、現状を打破するために、女性商店会員のアイデアを積極的に取入れ

取組内容

◆「こまちーズ」を中心とした商店街のPR活動

- ・女性三人組ユニット「こまちーズ」が中心となり、ガイドブックとしても使える50周年記念冊子を企画・制作
- ・まえさわ小町商店会に「まえこま」という愛称を付け、親しみやすくするとともに、スタンプラリーの景品としてオリジナルエコバッグを作成
- ・商店街の各店舗の店主などをキャラクター化したカードラリーを企画

◆若手会員の役員就任

- ・「こまちーズ」をはじめ、若手会員が役員(世話人)に就任し、商店会の活動で中心的な役割を担う



活動のきっかけとなった50周年記念冊子

効果・実績

◆商店会のイメージアップ

女性の視点を取り入れた企画により、商店会のイメージアップにつながり、若者や女性客の取り込みや商店会の活性化に大きく貢献

◆多様な意見が反映される役員構成

2019年：男性8名、女性0名【平均年齢：約70歳】



2023年：男性7名、女性4名【平均年齢：約50歳】



こまちーズがデザインをしたエコバッグ



各店舗の店主などをキャラクター化

受賞者コメント



こまちーズさん

- 商店会が女性活躍推進大賞を受賞するのは初めてということで、さっそく商業新聞から取材がありました。商店会はどうしても高齢男性中心のイメージが強く、家庭や仕事を支える主婦が商店会の中心となって企画から運営まで推進することは非常に困難であると考えられてきました。しかし私たちの取組を大きく評価していただいたことで、都内の他の商店会にも良い事例になったのではないかと思います。
- 私たち「こまちーズ」のモットーは、「ゆるーく、ながーく」。地域の皆様楽しんでいただきながら、私たちも楽しんでいきたいと思っています。

大賞

令和5年度 東京都女性活躍推進大賞

[地域部門]

一般社団法人ドゥーラ協会



産前産後の女性に寄り添い、暮らしを支える「産後ドゥーラ」を養成

- 設立/平成24年3月 ●所在地/千代田区 ●代表者/代表理事 宗 祥子
- 事業概要/産後ドゥーラの養成と活用促進



背景・経緯

- ・核家族化や高齢出産の増加、産後うつや児童虐待など、様々な問題が社会的に増加
- ・産後間もない母親に寄り添い、家事・育児を支援できる人材を養成したいという想いから協会を立ち上げ

取組内容

◆母親に寄り添う支援

- ・母親として立ち立てることができるを目指しながら、授乳や新生児のお世話、料理や洗濯など、産後ドゥーラ*が産後家庭に必要なサポートをすべて実施（都内14区、4市で公的な産前産後サポート事業として活用）

◆雇用創出

- ・10年以上にわたり産後ドゥーラの養成に取り組み、多くの女性が産後ドゥーラとして活躍できる雇用の場を創出

※「ドゥーラ」はギリシャ語で「他の女性を助ける経験豊かな女性」を意味する言葉

効果・実績

◆産後女性への支援

産後女性にニーズの高いサポート事業は、「女性活躍」の土台を築くとともに、少子化対策にも貢献

◆産後ドゥーラとしての活躍

年間100～120人の産後ドゥーラを養成。全国で約800名、うち約300名が都内で活躍



幅広い年齢や職歴の女性がドゥーラとして活動



保育・調理・乳児の発達や病気などを座学と実習で学ぶ様子



受賞者コメント



代表理事
宗 祥子さん

- 今回の受賞が、日本中の産後ドゥーラ、そして弊協会にとって、大きな喜び、そして励みとなりました。
- 2012年の設立当初は、認定産後ドゥーラとして認定を受けても働き口を見つけるのが大変な時期もありましたが、現在は多くの自治体で産前産後のサポートとして導入されており、逆に「ドゥーラが足りない」とのお声をいただくこともございます。
- これからも「おっぱい以外の子育ては、みんなに手伝ってもらおう」のスローガンを下に、お母さんが子育てしやすい世の中作りに尽力していく所存です。今後は東京以外の地域でも産後ドゥーラを養成していきたいと強く思っています。

優秀賞

令和5年度 東京都女性活躍推進大賞

[事業者部門]

PwCコンサルティング合同会社

pwc

戦略的な目標設定と社員主導の 女性ネットワーキングにより、女性活躍を推進

- 設立/昭和58年1月 ●所在地/千代田区 ●代表者/代表執行役CEO 大竹 伸明
- 正社員数/ 4,421人 (女性1,281人、男性3,140人)
- 事業概要/戦略策定から実行に至るまでの総合的なコンサルティングサービス提供



背景・経緯

- ・2030年度に向けて、女性管理職比率等の「野心的な目標」を設定。インクルージョン&ダイバーシティの重要なテーマの一つとして、ジェンダーダイバーシティの取組を強化

取組内容

◆トップダウンによる企業戦略

- ・女性管理職比率30%、「Proportionality of promotions」を100%にする目標を設定し、女性活躍推進に戦略的に取り組む ※女性比率と昇進比率を比較する指標
- ・性別等による「無意識の思い込み」の変革に資する研修(6時間)を必須研修として提供し、働きやすい環境づくりを推進

◆ボトムアップによる女性ネットワーキング

「WOMAN'S EMPOWERMENT」

- ・社員が自主的に女性ネットワーキングを立ち上げ、全社の公式活動に発展
- ・キャリアや生活に関する情報共有や悩み解決のためのチャットルームの開設や、仕事と家庭の両立など女性のキャリアに関するイベントを開催

◆【女性STEAM リーダー※の育成

- ・(一社)スカイラボと協働して、未来の女性STEAMリーダーを育成することを目的に、女子中高生を対象にした教育プログラム「DESIGN YOUR FUTURE」を提供

※Science 科学、Technology 技術、Engineering エンジニアリング、Art アート、Mathematics 数学

効果・実績

◆女性比率の向上 ※PwC Japanグループ全体

女性管理職比率

2020年度：18.9%→2022年度：21.2%

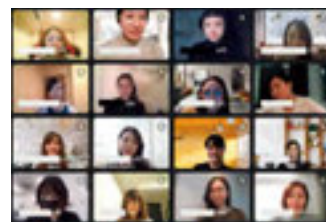
「Proportionality of promotions」：89.6(2022年)

◆「DESIGN YOUR FUTURE」

デザイン思考による課題解決プロセスを学びながら、テクノロジーを含む理系分野への関心を喚起



Woman's Empowermentの社内HP



国際女性デーでのイベントの様子

受賞者コメント



代表執行役CEO、パートナー
大竹 伸明さん

- この度の受賞によって、女性が活躍する職場の環境創りに対する社内の意識(特に経営層の意識)がより高まりました。日々変化する社会課題に対して多様な視点により適切に判断し、迅速に対応するためにも、また、人材不足が進む中で一人一人の社員がイキイキと活躍し続けられるためにも、女性活躍推進の重要性を改めて感じています。
- 女性の管理職を増やすため、より具体的な数値目標を設定し、来年度(2024年7月)からは執行役レベルのKPIに組み込みます。また、ボトムアップの取組としては、女性を中心としたネットワーキング活動としてオンラインで実施してきたLife at PwCという企画を対面にも拡大し、継続していきます。

優秀賞

令和5年度 東京都女性活躍推進大賞

【事業者部門】

パーソルキャリア株式会社



PERSOL

パーソルキャリア

「制限をなくし、活躍できる人を増やす」ことを目標に掲げ、独自の施策を展開

- 設立／平成元年6月 ●所在地／千代田区 ●代表者／代表取締役社長 瀬野尾 裕
- 正社員数／5,607人（女性3,143人、男性2,464人）
- 事業概要／人材サービス



背景・経緯

- ・女性の意識改革やスキルアップなど、女性が“がんばる”施策が中心であり、会社のサポート強化に課題
- ・「制限をなくし、活躍できる人を増やす」ことを目標に掲げ、性別に関わらず活躍できる環境づくりを推進

取組内容

◆独自施策の展開

- ・「育休ウェルカムバック制度」
育業中の不安を解消しスムーズな復帰を支援するため、育業中で就労を希望する社員を対象に、一時的な就労機会を提供
- ・「管理職育児体験研修」
「NO 残業生活」や「子供の体調不良によるお迎え連絡」といった疑似体験を通じて、時間に制限のある働き方を体感し、マネジメント運営を変容

◆ヘルスリテラシー向上

- ・対象を女性に限定せず、生理・PMS についてのヘルスリテラシー向上セミナーやイベントを開催
- ・女性の健康問題について調査を実施し、課題解決に向けて有識者の提言とあわせて公表



女性の働き方とヘルスリテラシーに関する調査

効果・実績

◆育休ウェルカムバック制度

制度導入から10か月で61名が利用
(2023年7月)

◆管理職育児体験研修

今後数年かけて、約550名の全管理職が受講

◆女性の健康についてのヘルスリテラシー向上

男性社員や管理職を含む約1,400名が社内セミナーに参加し、意識が向上



「管理職育児体験研修」振り返り会の様子

受賞者コメント



代表取締役社長
瀬野尾 裕さん

- 当社では、「人々に『はたらく』を自分のものにする力を」をミッションに掲げ、社内外のはたらく個人が、自分の可能性を知り、選択し、行動する「キャリアオーナーシップ」を発揮できるよう様々な取組を行ってきました。
- 今回、様々な「はたらく上での制限」への理解を深め、多様な社員が活躍できる環境を作る取組を評価いただき、改めてその意義や重要性を強く認識する機会となりました。
- 今後も、取組を全社規模へと広げ、多様な社員がパフォーマンスを最大限発揮し、長く活躍できる環境づくりを推進していくとともに、オウンドメディアなどでの発信も行い、当社の取組を社会へ還元できるよう邁進して参ります。

優秀賞

令和5年度 東京都女性活躍推進大賞

[地域部門]

特定非営利活動法人 子育てママ応援塾ほっこりーの



NPO法人
子育てママ応援塾
ほっこりーの

「脱“孤育て”」をモットーに、 子育て中のママたちの居場所づくりを推進

- 設立/令和元年9月 ●所在地/北区 ●代表者/理事長 内海 千津子
- 事業概要/子育てサロン運営等



背景・経緯

- ・現代表が、自身の子育て中に社会からの孤立感を感じたことがきっかけで、2008年にママサークルを立ち上げ
- ・子育て中のママたちの居場所づくりのため、民営子育てサロン「ほっこりーの」を北区等で運営

取組内容

◆子育て共助拠点の運営

- ・「子育て」が「孤育て」にならないよう、子連れママが気軽に立ち寄れる居場所づくりとして子育て共助拠点(子育てサロン)を運営し、交流、座談会やイベントなどを開催

◆子育てサードプレイススクール

- ・子育て共助拠点となるサードプレイスを全国に増やすため、拠点運営のノウハウをカリキュラム化した支援者向けスクールを開校

◆大学との連携

- ・看護学科・保育学科の学生インターンシップを積極的に受け入れ



ほっこりーの子育てサードプレイススクール(オンライン)の様子

効果・実績

◆子育て共助拠点

年間約3,100人の親子が利用し、ママと地域社会がつながる場を提供

◆インターンシップ

年間約160名の学生が子育て支援の現場を体験



子育てサロン・ほっこりーの十条店でくつろぐ親子連れ



インターンシップで乳幼児親子の話を聞く大学生

受賞者コメント



代表理事

内海 千津子さん

- 受賞後、当団体の「子育てサードプレイススクール」へのお申込みが急増、おかげさまで全国へ私たちの活動が広まったように感じています。子育て中の母親たちが「自分らしく活躍出来る居場所」を作りたいという人たちがいかに多いか知ることができ、その人たちの勇気になれたようで、とても嬉しかったです。
- 今後、より一層多様化するであろう女性たちの生き方に寄り添い、親子が健やかに育ち合える地域づくり、孤育て防止を目指して、微力ながら精進して参りたいと思います。この度は、本当にありがとうございました。

特別賞

令和5年度 東京都女性活躍推進大賞

[事業者部門]

日本物産株式会社



「トップダウン」での仕組みづくりと「ボトムアップ」による活動の両輪で、女性が活躍できる職場づくりを推進

- 設立/昭和22年9月 ●所在地/中央区 ●代表者/代表取締役社長 守口 光徳
- 正社員数/102人(女性69人、男性33人)
- 事業概要/セールスプロモーショングッズの企画・製造・販売等



背景・経緯

- ・2021年4月の現社長就任時、社員の約8割を女性が占めていたが、女性管理職比率は30%未満
- ・女性活躍を推進したい社長の想いと当事者である女性社員とのギャップが大きく、「制度」と「意識」の両面から改革に着手

取組内容

◆トップダウンの人事制度改革と意識改革

- ・社長のトップダウンの下、ライン課長制度の創設(半数を女性登用)、評価制度の改定など、人事制度改革を推進
- ・社長月例報告会議への出席や他社との交流などにより、社員の意識改革を実施

◆ボトムアップによる活動の展開

- ・次世代の女性リーダー候補を招集した「選抜女性研修」の提言を基に、若手社員活性化を目的とした「若手リーダー育成研修」を創設
- ・「女性活躍推進WG」によるグループ企業との交流会発足など、女性社員が主体的に活動を展開



ライン課長によるイクボス宣言

効果・実績

◆女性管理職比率の増加

2020年：25.7%→2023年：40.0%

◆「若手リーダー育成研修」

研修から生まれたプロジェクトチームによる事業(「刺繍加工のカスタムオーダー」・「企業キャラクター制作」)がビジネスに発展

◆「女性活躍推進WG」

「イクボス企業同盟・イクボス宣言」を提言し、導入



グループ企業交流会の様子

受賞者コメント



代表取締役社長
守口 光徳さん

- 当社は人財力の向上を経営目標に掲げ、トップダウンでの人事制度など様々な改革の実施とボトムアップによる提言・提案活動の両輪で女性が活躍できる職場づくりに邁進して参りました。今回の受賞で様々なメディアにも取り上げていただき、また多くのお取引先様から取組内容について関心を持っていただくなど、当社の企業ブランドと社員の意識は確実に向上していると感じます。
- 今後は女性活躍の推進を会社全体の活性化に広げるべく、健康増進やチームワークの充実など更なる改善を行い、社員一人一人が実感できるライフ・ワーク・バランスの実現に向けて進化を続けていきたいと思っております。

特定非営利活動法人フローレンス

「多胎児家庭」のニーズに特化した 子育て支援サービスを開発

- 設立/平成16年4月 ●所在地/千代田区 ●代表者/代表理事 赤坂 緑
- 事業概要/多胎児家庭のみを対象とした、日本唯一のベビーシッターサービス



背景・経緯

- ・2019年に全国約1,600世帯の多胎児家庭にアンケートを実施したところ、約9割が「外出・移動が困難である」と回答
- ・多胎児を妊娠・出産する母親は100人に1人のマイノリティであり、多胎児家庭専用のサービスが開発される機会が少ないことを受け、開発に着手

取組内容

◆多胎児家庭専門の訪問サポートサービスの運営

- ・多胎児育児の悩みや負担を軽減することを目的に、多胎児家庭専用の訪問サポートサービス「フローレンスのふたご助っ人くじ」を運営（都内16の自治体にてサービスを展開）
- ・くじ制度で、当日朝までサービスを受けられる機会を提供。保護者とともに育児を担う「共同保育」により、子供だけでなく親もサポート
- ・忙しい多胎児家庭の利用のハードルを大きく下げするため、煩雑な手続きを一切カットし、登録・利用・支払いまで「LINE」で完結

効果・実績

◆多胎児家庭への支援

2020年12月トライアル開始以来、16地域の250超の多胎児家庭から登録があり、4,000件弱のサポート依頼。外出へのハードルを下げ、育児中の母親に社会とのつながりを提供するなど、多胎児家庭を取り巻く課題解決に寄与



助産師監修「多胎児家庭支援者向け研修」修了済のスタッフが訪問



当日朝8時まで依頼を受付



検診や予防接種の同行も

受賞者コメント



「ふたご助っ人くじ」
チームリーダー

市倉 加寿代さん

- この度は、女性活躍推進大賞・特別賞をいただき、誠にありがとうございます。外部から客観的な視点で評価をいただいたことで、多胎児家庭へのサポートの意義や目的をスタッフ間で再確認することができ、更にモチベーションがアップしました。
- 私たちフローレンスは、これからも「フローレンスのふたご助っ人くじ」を通じて「親だけが育児を担うのではなく、社会で子供を育てる」というメッセージを伝えていきます。この度はありがとうございました。

歴代受賞者

令和4年度～平成26年度

※受賞者名、事業概要、取組等は、受賞時点の情報を掲載しています。

歴代受賞者コメント ※令和5年5月

◆令和3年度 医療・福祉分野〈大賞〉 社会福祉法人 風の森

大賞を受賞し、受賞についてのプレスリリースを配信したところ、大手経営者向けメディアの取材が決まりました。そのメディアがYahoo!トップに掲載され、瞬く間に知名度が上がり、多数のテレビ取材に繋がりました。

様々なメディアで発言を重ねるうちに、業界に対するミッションがより明確になり、今後は更なる子育て支援に力を入れるべく、病児保育や児童発達支援、一時保育等の事業を新規に立ち上げ、より業界に貢献していきたいと考えています。

◆令和元年度 教育分野〈大賞〉 学校法人 昭和女子大学

女性活躍推進大賞を受賞した後、本学の活動について広く周知されたことで、多くの企業のダイバーシティ推進担当の方々からお問い合わせがあり、「キャリアカレッジ」の会員企業数も増加。また、セミナーへの参加者や会員企業からの研修依頼も増え、関心の高さを実感しました。

大学では、今年、社会人向けの専門職大学院を開設しました。「キャリアカレッジ」では、受賞翌年から社会のニーズに応じて女性上級管理職向けの研修を開始し、今では役員向けの研修も行っています。

これからも、教職員や学生のみならず、本学で学ぶ働く女性の活躍支援及び地域や社会に貢献できる人材の育成に邁進して参ります。

◆平成30年度 産業分野〈優秀賞〉 港シビル 株式会社

施工管理事務として採用した未経験者(女性)を技術者として育成し、2名が現場監督、3名は担当技術者として現場に従事しています。また、女性2人で施工管理を行った現場では優良表彰を頂くなど、女性が現場で活躍しています。

現在、3年目の女性社員2名は2級土木施工管理技士に合格し、監理技術者になるために、現場経験を積みつつ、1級土木施工管理技士補の合格を目指しています。就業時間内での教育など、引き続きキャリアアップの支援を行って参ります。

◆平成29年度 地域分野〈大賞〉 認定NPO法人 プラチナ美容塾

女性活躍推進大賞をいただいたことで、美容を通じてアクティブに輝くプラチナ世代を支援する自分たちの活動に自信を持つことができ、対外的にアピールすることができました。結果として行政や社会福祉協議会、企業からの信頼を得ることができ、活動資源の獲得にも大きく貢献しました。また、地域活動の幅も拡大し、女性のシニア層だけでなく、男性を含め、子供や学生等、多世代の方々を活動に巻き込みました。

当法人の組織運営体制の改革、デジタル化など活動の見える化に力を入れ、スムーズな組織運営を目指してきました。コロナ禍で、一時活動を縮小せざるを得ない状況もあったものの、オンライン活動をいち早く取り入れ、オンラインボランティアやオンライン美容講座など新しい取組にチャレンジし、活動継続を図りました。

今後は、シニアを軸に、生きづらさを抱えている方(社会的弱者)へ美容の力でサポートできる事を展開し、活動の担い手も多世代を巻き込みつつ、来年度のNPO設立10周年を機にさらに活動の活性化を目指していきます。



大賞

産業分野

株式会社 吉村

(日本茶を主とする食品包装資材の企画・製造・販売)

女性や若手社員の積極的な経営会議への登用、女性が多い組織の独立・主体的な活動により、「補佐は女性」という風土から脱却



経営会議リーダーを担う女性社員

株式会社 ポーラ

(化粧品製造・販売)

社員のジェンダー意識改革や次世代へのキャリア教育支援に取り組むなど、女性エンパワメントを社内外に強力に推進

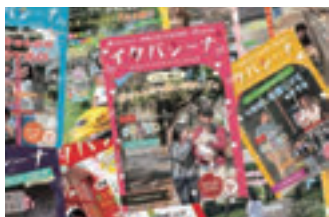


冊子『10代のためのジェンダーの授業』

地域部門

맘・스마일 (ママコミュニティ)

無料子育て地域情報誌「イタバシーナ」の制作を板橋区在住のママたちで行うなど、ママの社会復帰と地域活性化を推進



地域情報誌「イタバシーナ」

ママドクターの会

(子育て中の女性医師による有志団体)

講演会やメーリングリストを通じて女性医師のネットワークをつくり、育児と仕事の両立を支援



講演会の様子

特定非営利活動法人

くにたち夢ファーム

(DV被害や生活困窮など困難な状況を抱える女性や子供の支援)

困難な状況を抱える女性に対し、“実家(Jikka)”のようなコミュニティの役割を果たし、必要とされる支援を提供



地域に開き、誰もが来られる「Jikka」

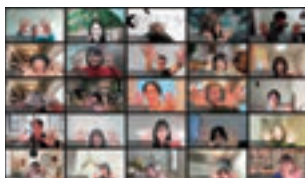
優秀賞

産業分野

株式会社 ノヴィータ

(情報通信業)

在宅勤務を基本とした多様な勤務体系を整備し、定期的に雇用形態を見直すことで、個々の状況に応じた柔軟な働き方を実現



全社員参加の朝会の様子

株式会社 フジタ

(総合建設業)

女性総合職ネットワークを立ち上げ、キャリアアップの阻害要因の分析・改善に取り組み、組織的に女性活躍を推進



ロールモデルの紹介

教育分野

青山学院大学

女性のためのITリカレント教育プログラムを創設し、IT分野で活躍できる人材を育成



IT実践力強化のプログラミング授業

特別賞

医療・福祉分野

社会福祉法人 フレスコ会

(台東区で特別養護老人ホーム運営)

国基準の2倍の介護・看護スタッフの配置や短時間夜勤の導入など働き方改革を推進



ゆとりある職場づくりを推進

社会福祉法人 東京児童協会

(認定保育園・認定こども園運営)

栄養士による食育や看護師による健康教育等、専門性を活かしながら活躍できる職場づくりを推進



各園の看護師による健康教育の実施

地域部門

チームねりまde女子マルシェ

(農業に従事する女性を中心とするマルシェ開催団体)

「話して・知って・食べて・楽しんで・つながる」をコンセプトに、マルシェを通して女性農業者のつながりと活躍の場を創出



練馬区役所でのマルシェの様子



大賞

産業分野

日本ロレアル
株式会社

(化粧品品の輸入・製造・販売)
男女平等を企業文化として
確立し、社内の女性活躍
に留まらず広く社会に働き
かける活動を展開



シングルマザー就労支援プログラム
「未来への扉」

株式会社
佐藤製作所

(金属加工業)

男性中心のものづくり企
業において女性社員の活
躍の場を創出し、企業や
業界のイメージを一新



地域の小学生に金属加工を教える
若手女性職人

医療・福祉分野

社会福祉法人
風の森

(杉並区で認可保育園
6園運営)
ゆとりある保育環境
を整備し、保育士の
働き方改革・キャリ
ア形成支援を推進



勤務時間内に行っている研修の様子

教育分野

国立大学法人
東京医科歯科大学

地域と連携した独自の両
立支援制度を構築し、教
職員のキャリア継続を支援



リーダーシップ向上セミナー

優秀賞

産業分野

株式会社 オンザウェイ

(無線機等のリース・レンタル、無線
機アクセサリの企画開発)
社員間のサポート体制を重視した
職場づくりによって、家庭と仕事
を両立しやすい環境を整備



電話による通信販売営業の様子

医療・福祉分野

社会福祉法人 大三島育徳会

(世田谷区で高齢者福祉施設及び障害者
支援施設運営)
キャリアパス制度を活用し、モチベ
ーションを持って働き続けられる職場
を実現

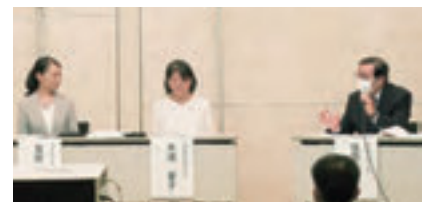


外部講師を招いての接遇マナー研修

教育分野

日本医科大学

上位職登用に向けたポジティブアク
ションにより女性研究者のキャリア形
成を推進



ダイバーシティ研究環境実現に向けて
キックオフシンポジウム

特別賞

地域部門

子育て支援
SANの会018

(練馬区で子育て支援を行う
任意団体)
地域の親子が気軽に訪れる
公園を拠点としたコロナ禍
の子育て支援



地域の親子の交流の場を開催

社会福祉法人
いのちの電話

(「東京いのちの電話」センター
を運営)
困難に直面する女性等に寄
り添う相談事業により50年
にわたり自殺予防に寄与



電話相談室の様子



大賞

産業分野

株式会社 小宮商店

(日本の織物を使った職人による手作り洋傘の製作・卸売り・販売)

男性中心型の職人によるものづくり企業において、一から女性活躍推進に取り組み、技術継承や業績拡大に発展



女性による商品企画会議の様子

コカ・コーラ
ボトラーズジャパン
株式会社

(清涼飲料水の製造、加工及び販売)

従来の方法にとらわれず、男女ともに働きやすい環境づくりをトップ主導でスピーディーに展開



子どもが産まれた男性社員へ「パパエプロン」をプレゼント

明治安田生命保険
相互会社

(生命保険の引受、資産運用)

ライフ・ワーク・バランスの意識醸成、女性管理職登用にに向けた取組を戦略的に展開



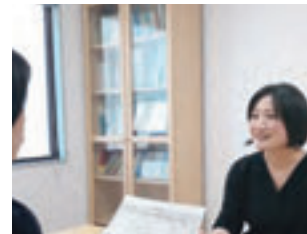
ダイバーシティ・フォーラムの様子

医療・福祉分野

社会福祉法人
多摩棕櫚亭協会

(精神障害支援施設4施設運営)

キャリア形成のための制度を整備し、モチベーションを持って働き続けられる職場を実現



キャリアパス制度に基づく目標管理面接

教育分野

学校法人
日本女子大学

リカレント教育課程の設立・普及により、女性の再就職を支援



リカレント教育課程のオンライン授業風景

東邦大学

全学的にダイバーシティを推進し、教職員の就業継続を支援



女性チームでの手術風景 (形成外科医・麻酔医・看護師)

地域部門

社会福祉法人 ダビデ会 昭島ナオミ保育園

(認可保育園1園、地域子育て支援事業3施設運営)

保育園のノウハウを活かした子育てコミュニティを創出し、地域活性化に貢献



地域の子育て世代がノウハウを学ぶ「子育て支援プログラム」の様子

優秀賞

医療・福祉分野

社会福祉法人
まちだ育成会

(障害者福祉施設6施設運営) 現場目線による働きやすい環境づくりと多様なスキルアップ支援を推進



ワークラइフ委員会の様子

地域部門

江戸東京野菜
プロジェクト

(瑞穂農芸高校の女子生徒を中心とした任意団体) 高校生が開発した「瑞穂七色唐辛子」による地域活性化



地元の野菜を活用した地域振興活動

特別賞

産業分野

株式会社
エグゼクティブ

(法人専門の営業アウトソーシング) 働く時間や場所を問わず働き続けられる仕組みの構築により、多様な働き方を実現



社員が自由に選べる働き方を整備

株式会社
横引シャッター

(特殊シャッター等の製造販売) 従業員の雇用を守る取組と「お互い様精神」の醸成による働きやすい職場づくりを推進



工場で塗装を行う女性社員



大賞

産業分野

大塚製薬 株式会社
(製造業)

ダイバーシティ推進に継続的に取り組み、男女ともに働きやすい職場を実現



Otsuka Women's Workshopの様子

医療・福祉分野

社会福祉法人 松栄福祉会
(認可保育園2園、カフェ運営)

保育士のスキルアップ支援とカフェ運営による保育の枠を超えた地域貢献



女性の多様な働き方に対応するため組織全体で体制を見直し

教育分野

学校法人 昭和女子大学

様々なライフステージにおける女性の活躍、ダイバーシティ推進に貢献



キャリアカレッジの様子

地域部門

成城学校避難所運営管理協議会
並びに成城避難所女子会

(成城学校が一次避難所に指定されたことを契機に協議会が設立。地域の女性の意見を避難所運営に反映するため女子会を設立)

私立男子校の避難所運営に女性が参画することにより、地域の防災力強化と地域コミュニティ活性化に貢献



住民参加型避難所シミュレーション演習

非営利型株式会社
Polaris

(仕事と育児の両立における負担や、離職によるキャリアブランク等の育児期の女性の「働きにくさ」の社会課題の解決を目指し、事業を展開) 地域の女性が多様な働き方を実現するための仕組みづくりにより、女性が活躍する場の創出と地域の活性化に寄与



働く時間や場所にも制約のある育児期の女性のキャリアロスを防ぐ

優秀賞

産業分野

立花建設 株式会社
(建設業)

女性の少ない建設業界において女性が活躍できる環境を整え「建設小町」に育成

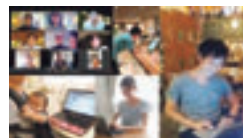


女性による現場パトロール

TRIPORT 株式会社

(ITソリューション開発・販売、経営・労務コンサルティング)

「全社員テレワーク」の仕組みの構築により、プライベートまで配慮した働き方を実現



完全テレワーク導入

医療・福祉分野

社会福祉法人 にじの会
(知的障害者・障害児支援事業)

女性が働きやすい環境づくりを現場目線で推進



産休育休職員懇談会の様子

地域部門

一般社団法人
ひきこもりUX会議

(ひきこもり当事者の交流の場づくり、調査、情報発信等) 女性のひきこもりの居場所を創出し、当事者の声を社会に発信



ブックレット

「シリーズ 私たちの生存戦略 (ひきこもり女子会)」

特別賞

医療・福祉分野

社会福祉法人
げんき

(障害者・障害児支援事業) 多様な職員を受け入れる体制の整備により、一人一人の事情に応じた働き方を実現



事業所内研修の様子



令和元年度 東京都女性活躍推進大賞 贈呈式



大賞

産業分野

コネクシオ
株式会社

(携帯電話の卸売・販売及び携帯電話を利用したソリューションサービスの提供)

男女がともに活躍できる職場を目指し、人財育成・働き方改善を推進



全社員のライフ・ワーク・バランス推進

医療・福祉分野

医療法人社団
東山会

(調布東山病院など3医療機関を運営)

適正な業務量の設定による医師の働き方改革を中心とした、トップマネジメントによる働きやすい環境作りの推進



活躍する女性医師

教育分野

国立大学法人
お茶の水女子大学

研究者支援、社会人女性を対象とした生涯学習講座により、女性リーダーを育成



「お茶大女性ビジネスリーダー育成講座：德音塾(さいいんじゅく)」の様子

個人部門

岩田 敏江 氏

(瑞穂町社会教育施設 耕心館ボランティア代表)

施設運営のボランティア活動を通じ、町の活性化に貢献



耕心館でのつるし飾り展

優秀賞

産業分野

港シビル 株式会社
(建設業)

新職域「施工管理事務」を確立し、ドボジョを育成!



女性が監理技術者や現場代理人として活躍

医療・福祉分野

社会福祉法人 嬉泉

(障害児や障害者の福祉事業及び保育事業の運営)

職員の声に耳を傾け、育児と仕事を両立しやすい・働きやすい環境を実現



職場復帰セミナー

社会福祉法人 奉優会

(特別養護老人ホーム、介護施設、高齢者福祉センター等を運営)

きめ細かな両立支援と成果主義実践等による女性の活躍推進



奉優会で活躍する女性職員

教育分野

国立大学法人
東京農工大学

理系女性研究者への総合的支援や積極的登用を展開



産休バドク制度 研究支援員派遣制度

個人部門

関 直美 氏

(シテ方宝生流能楽師、音楽博士、茶道 裏千家教授、伝統文化普及団体 伝統の橋がかり代表)

男性中心の伝統芸能の世界で、能楽師として活躍



関直美氏による能の様子

特別賞

産業分野

株式会社
井口一世
(製造業)

実力主義と、制度の整備により、女性の活躍を推進



代表取締役と女性社員の座談会

地域分野

一般社団法人
建築設備技術者協会

(建築設備技術者の資質向上や技術の進歩改善のための調査研究及び普及等) 女性技術者のネットワークを作り、仕事の魅力ややりがいを発信



設備女子会運営委員会事務局の皆さん



大賞

産業分野

三井住友海上火災保険株式会社
(損害保険業)

全社員の総活躍を支援する取組を総合的に展開



育児休業中に在宅で定型業務が可能

医療・福祉分野

社会福祉法人 竹清会
(特別養護老人ホーム等の介護事業)
女性理事長を中心に女性職員が働きやすい環境づくりを推進



理事長を交えながら女性職員による多職種での打合せ

教育分野

学校法人 東京女子医科大学
女性医師・研究者のキャリア形成を継続できる環境を整備、全国の女性医療人を対象にした復職支援



地域の人々から子育て支援を受ける「ファミリーサポート」事業概要図

地域分野

特定非営利活動法人 プラチナ美容塾
(高齢者施設等でメイクやハンドケア等を行うボランティア活動)
美容を通じて、アクティブに輝くプラチナ世代(いつまでも元気に、人生を楽しむシニア世代)を支援



品川いきがいフェスタでの活動の様子

個人部門

市川 順子 氏
(作ろう! みんなのジモトWa-shoi パートナーシップ 世話焼き人 (代表))
多様な人をつなぎ、新たな地元ネットワークを生み出す地域コーディネーター



地域における横のつながりを構築

優秀賞

産業分野

アフラック
(生命保険業)

トップダウン及びボトムアップによる強力な体制の下、ダイバーシティを推進



タウンホールミーティングでの社長と社員の対話の様子

富士ゼロックス多摩株式会社
(富士ゼロックスの販売会社として多摩地域と山梨県で事業を展開)

自社の課題に向き合い取組を着実に推進、女性活躍推進のための新たなスキームを創出



地元のネットワークを活かし、地元企業等との交流会を実施

教育分野

国立大学法人 東京大学
総長の強いリーダーシップで加速的取組を展開



女性教員(教授・准教授)増加のための加速プログラム

地域分野

特定非営利活動法人 男女共同参画おおた
(大田区立男女平等推進センターの指定管理者として、男女共同参画の地域づくりに貢献) 子育てしながら起業を目指す女性をサポート! 女性視点のアイデアを形にした起業を応援



起業塾の様子

個人部門

山崎 恵 氏
(株式会社 Copybara (カピバラ) 代表取締役)

子供と一緒に過ごしながら仕事ができるビジネスモデルにより、母親たちに多様な働き方を創出



「ママ職サイト」を運営し、在宅でできる仕事を提供

特別賞

産業分野

由井電気工業株式会社
(電気工事業)

「きつい・汚い・危険」建設業3Kからの脱却を目指し、女性社員が長く働きたくなる会社づくりを推進



女性を中心とした工事チームを編成



大賞

産業分野

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
(損害保険業)

女性管理職輩出に向けたパイプライン形成と、男性社員の意識改革にも注目した働き方改革



上司からお子さんが生まれた部下へ送るおめでとうカード

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社(P&G)

(洗濯・台所洗剤、化粧品、ヘアケア製品、紙おむつなどの研究開発、製造、販売等)

社員の多様性を尊重した柔軟な働き方とダイバーシティ推進のノウハウを社外に還元



社外向けトレーニング風景

教育分野

**学校法人杏林学園
杏林大学**

女性教職員の「研究力向上」「裾野拡大」を目指した「ライフイベント」に配慮した両立支援



ハンドブックや女性研究者ロールモデル集「Annes (アンズ)」を制作

地域分野

**特定非営利活動法人
放課後NPO
アフタースクール**

(学校の施設を活用し、学童保育の預かり機能と体験教室の機能を両立する「アフタースクール」を運営)

アフタースクール開校による保護者の社会復帰支援と市民を巻き込む多様なプログラムを展開



シェフの先生との料理プログラム

個人部門

海老原 宏美 氏

(東大和市地域自立支援協議会 会長)

自らも難病と向き合いつつ、ダイバーシティの実現に向け、障害者のネットワークを形成



人工呼吸器と共にどこへでも

優秀賞



平成28年度 東京都女性活躍推進大賞 贈呈式 優秀賞受賞の皆さん

産業分野

小田急電鉄 株式会社

(運輸業)

鉄道現業において育児中の社員が活躍できるような制度の見直し・働き方の見直し

株式会社 セプテーニ

(広告業)

残業時間削減のための取組・社員にとって有用性の高い子育てサポート・女性向け能力開発プログラム

医療・福祉分野

**社会福祉法人
あいのわ福祉会**

職場環境の整備・女性職員の管理職及び役職者への積極的な登用

地域分野

**特定非営利活動法人
Fine**

不妊ピア・カウンセリング及びカウンセラーの養成
不妊治療と仕事の両立環境改善のための啓発

**特定非営利活動法人
ブーゲンビリア**

おしゃべり会や学習会の開催・乳がんになっても働き続ける女性を後押しするための環境整備

個人部門

越後屋 美和 氏

(株式会社HORIGO東京
ワイナリー代表)

東京で初のワイナリーを設立・都内産農産物の認知度を向上させる活動の実施



大賞

産業分野

DACグループ
(広告業)

積極的な女性の幹部登用と男性も含めた働きやすい環境整備



北欧視察研修

医療・福祉分野

**社会医療法人財団大和会
武蔵村山病院**

働きやすい職場環境整備による女性医師や職員の継続就業サポート及び職員間の公平性確保



協力し合う職場風土

教育分野

**学校法人
芝浦工業大学**

学長及び理事長の強力なリーダーシップによる女性研究者の積極的な採用・登用・ネットワーク形成



男女共同参画推進ワークショップ

地域分野

**特定非営利活動法人
豊島子どもWAKUWAKUネットワーク**

(地域の子供達のサポート)

子供一人でも入れる「子ども食堂」を地域のネットワークで運営・居場所で開催するシングルマザー等への伴奏的支援



要町あさやけ子ども食堂の食事風景

個人部門

堤 香苗 氏

(株式会社キャリア・ママ 代表取締役)

自らの発想力と行動力で、小さい子供を持つ主婦層などが活躍できる場を創出



「共同請負型在宅ワーク」をビジネスモデルとして確立

優秀賞

産業分野

**東海東京フィナンシャル・ホールディングス
株式会社**

トップの発信に基づく、働きやすい職場環境の整備や女性のキャリアアップ支援などの幅広い取組の実施によって女性活躍を推進

株式会社 ヒロケイ

育休復帰支援や、在宅勤務制度の本格実施など、仕事と出産・子育ての両立実現に向けたきめ細かい取組を実践

医療・福祉分野

**社会福祉法人
合掌苑**

介護現場において女性の活躍が法人の原動力と考え、託児室設置、夜勤専従化、法定を上回る看護休暇等、女性が継続的に働ける職場環境を整備

地域分野

**特定非営利活動法人
マドレボニータ**

産前・産後のケアの普及・実施や、全国各地で開催の「母となって働く」を語るワークショップを通じて、産後を軸にした女性のサポートを展開

個人部門

石坂 昌子 氏
(石坂ファームハウス)

女性農業者として、女性の視点を生かした農業経営を実現するとともに、都内の女性農業者が活躍するための先駆者として大きな影響



大賞

産業分野

理研計器 株式会社

社長のリーダーシップの下、従業員の声に耳を傾け、柔軟な対応で働きやすい環境を提供



活躍する女性社員

医療分野

医療法人社団 KNI

就業継続支援とキャリアアップ支援の両輪で、いきいきと働ける職場づくりを推進



お化けに扮して職場訪問する院内保育所の子供達（ハロウィン企画）

教育分野

国立大学法人 東京学芸大学

男女共同参画推進本部を設置の上、勤務環境の改善や支援制度の充実に取り組み、女性研究者の裾野を拡大



子育て交流会

地域分野

社会福祉法人 新生寿会

現場の施設長が面接を行い、個々の職員から課題を聴取、個別の対応で就業継続を促進



子連れ出勤

東京都の取組紹介

女性の活躍推進

東京都では、すべての女性が多様な生き方を選択でき、広く社会で活躍できるよう、女性の活躍推進に向けた様々な事業を展開しています。

STEM分野魅力発信事業「女子中高生向けオフィスツアー」

STEM（科学・技術・工学・数学）分野における女性活躍を推進するため、企業等と連携した「女子中高生向けオフィスツアー」を実施し、女子中高生の進路・職業選択を応援しています。



性別による「無意識の思い込み」に関する取組

進路や職業選択への性別による「無意識の思い込み」の影響を把握するため、性別による「無意識の思い込み」に関する実態調査を実施しました。この結果を踏まえて、動画やグッズを用いた普及啓発を行うなど、様々な取組を行っています。



女性の悩み相談サイト「TOKYOメンターカフェ」

ちょっとした悩み事、モヤモヤすることなどをインターネットで気軽に相談ができる女性のための悩み相談サイトです。仕事、子育て、介護などを経験してきた都民メンターがあなたの悩みをお聞きます。



東京都女性活躍推進大賞

女性の活躍推進について、優れた取組を行っている企業や団体、個人を「東京都女性活躍推進大賞」として表彰し、その取組を多様な媒体で広く発信しています。



男性の家事・育児応援

東京都では、男性の主体的な家事・育児を応援するため、様々な事業により、社会全体のマインドチェンジに取り組んでいます。

また、今後の施策の参考とするため、男性の家事・育児実態調査を隔年で実施しています。

Webサイト「TEAM家事・育児」

男性の家事・育児を促進するため、子育て中の夫婦やプレパパ・プレママ、企業経営者や管理職、若者からシニアに至るまで、家事・育児を「TEAM」として考え変えていくための、様々な情報やアドバイスを発信しています。



プロスポーツチームと連携した普及啓発イベント

プロスポーツチームと連携した男性の家事・育児応援イベントを実施しています。選手の方々からいただいた応援メッセージも公開中です！ぜひご覧ください。



男性の家事・育児実態調査

都内在住の男女5,000名を対象に男性の家事・育児実態調査を実施しました。有識者の協力のもと、今回の調査結果から浮かび上がった家事・育児における男女の意識差やホンネ、育業等の実態を紐解き、今日から使える一言アドバイスをレポートにまとめています。



お問合せ先

東京都生活文化スポーツ局
都民生活部男女平等参画課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2丁目8番1号

TEL.03-5388-3189

E-mail : S1121203@section.metro.tokyo.jp

東京で輝く、
自分らしく。



令和6年6月発行 登録番号 (6) 9

編集・発行 東京都生活文化スポーツ局都民生活部男女平等参画課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2丁目8番1号
電話 03 (5388) 3189

印刷 株式会社トライ

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。